

2、今までは弱いながらも何とかアクセスできてレピーター交信できた局も、この電波の干渉でレピーターをアクセスできなくなった。。。。このようなアマチュアが局が多くなって、東京都内の局でもロケーションに恵まれない局の反射通信による、JR1WBアクセスは不能となってしまった局が多くなってきている！

3、SINPX 通信の場合、F3ではお互いにビームが向き合っていれば干渉は少ないが、どちらかのANTが都心にむいてきたり、電界強度が落ちてきたり、周波数が若干ずれてくると、ツリーーンという干渉音で邪魔される、場合によっては交信不能になる！

又、2424.20MHz付近のA3J(SSB)で実験してみると、

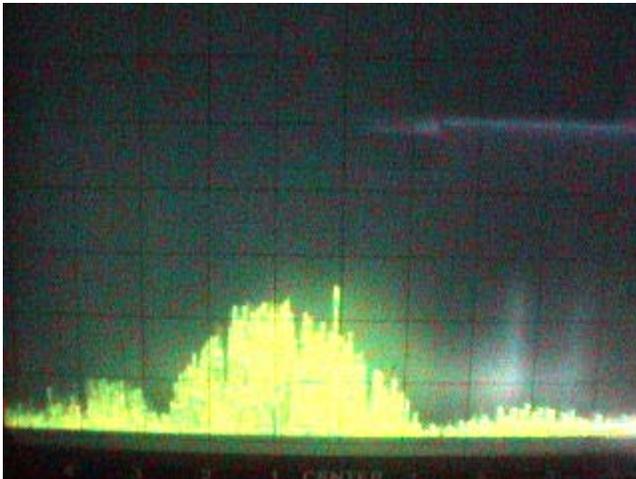
横浜鶴見JH1UGF<.....>世田谷JR1LQEではビームを向け合うとものすごく強力な信号強度59+++で交信出来るが、その状態でJH1UGFのANTを都心に向けていくと、SSBといえども干渉度は凄く.....JR1LQEを確認できなくなるくらい妨害を受ける！

取り敢えず、簡単な実験報告ですが、JR1WB 2424.20MHzが使いづらいのが何とかならないかと.....考えてしまいます！！

JH1UGF 榎岡 寛幸 e-mail jh1ugf@jarl.com

[yama:1359] 怪電波写真3 2000/07/28 12:20

さらに右側に3度ANTを振ってみると、JA1IGYのレベルが上がってきている。



[yama:1360] 怪電波2 2000/07/28 12:20

霞ヶ関から約5度右、新橋方面へANTを振ったとき怪電波最高レベルになる！山の右側にチョット出ているのがJA1IGY。

JH1UGF 榎岡 寛幸 Yokohama Tsurumi jh1ugf@jarl.com

